

令和3年度公共職業安定所のマッチング機能に関する 業務の評価・改善の取組について

全国の公共職業安定所（ハローワーク）では、マッチング機能の強化を図るため、平成27年度からPDCAサイクルによる目標管理・業務改善の取組を行うとともに、マッチング機能に関する総合評価を実施し、その結果を公表しているところですが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の業務への影響が不透明であることから、総合評価を実施せず、過去3年度の実績との対比により進捗管理を行い、継続的な業務の改善に取り組みました。

（単位：件）

		局計	金沢所	小松所	白山所	七尾所	加賀所	輪島所
①就職件数 (常用)	令和3年度実績	13,376	5,623	2,069	2,103	1,600	1,034	947
	令和2年度実績	13,269	5,438	2,097	2,089	1,666	1,034	945
	令和元年度実績	15,268	6,342	2,342	2,326	2,054	1,175	1,029
	平成30年度実績	16,581	7,014	2,557	2,578	2,120	1,260	1,052
②充足件数 (常用、受理地 ベース)	令和3年度実績	13,655	6,648	1,991	1,848	1,409	898	861
	令和2年度実績	13,690	6,698	1,909	1,946	1,445	880	812
	令和元年度実績	15,660	7,741	2,239	2,074	1,762	985	859
	平成30年度実績	16,868	8,260	2,433	2,340	1,885	1,073	877
③雇用保険受 給者の早期再 就職件数	令和3年度実績	4,360	2,126	648	722	447	257	160
	令和2年度実績	5,115	2,402	760	886	554	317	196
	令和元年度実績	5,486	2,556	839	919	624	317	231
	平成30年度実績	5,263	2,546	802	813	525	350	227

各ハローワークが令和3年度に重点的に取り組んだ事項やサービス改善・業務改善を図った事項など取組の詳細は、別添1のとおりです。

また、当該報告は石川労働局ホームページにも掲載いたします。

令和4年度は、例年どおり総合評価を行うこととしており、石川労働局及び各ハローワークでは、令和3年度の結果の十分な検証のもと、継続的な業務改善に取り組んでまいります。

【照会先】

職業安定部職業安定課

課長 諸田 一良

課長補佐 山口 明弘

電話 (076) 265 - 4427

ハローワーク金沢 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

イ 主要指標（就職件数、充足数、雇用保険受給者早期就職件数）と補助指標（紹介率）

令和3年度は令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じつつ、全ての求職者に『『早期再就職支援コーナー』への積極的な誘導』のほか、キャリアアップによる職業選択の支援や希望職種の拡大等による就職促進のため、「職業訓練窓口への誘導」を徹底し、更に雇用保険受給者については「詳細な緊要度を把握するため初回相談時アンケートの実施」を踏まえた支援策の提供を徹底するなど、各種支援サービスの提供に努めてきました。

また、「生涯現役支援」、「わかもの及び就職氷河期世代支援」、「人材確保分野支援」、「早期再就職支援」、「学卒支援」、「職業訓練相談」「雇用保険受給者相談」コーナー別に、早い段階で求職者の希望に応じた支援の担当者を決めて進めるなど、早期再就職につながるよう取り組みました。

ロ 所重点指標（就職氷河期世代支援、生活保護受給者支援、障害者支援、生涯現役世代支援、職業訓練修了者支援など）

前述の各コーナー等のほか、専門的な援助・支援が必要な窓口（「障害者専門窓口」、「生活保護受給者支援窓口（金沢市役所に出張窓口あり）」にて、それぞれの指標達成を目標に取り組みました。

特に、令和2年度の達成状況が低迷した「就職氷河期世代支援」、「生涯現役支援」については、対象求人への積極的な開拓のほか、開拓した求人を元に支援対象者の取り込みを積極的に展開したことから、「就職氷河期世代支援」で対前年度比+22p改善、「生涯現役世代支援」で同比+57p改善となりました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

イ キャリアコンサルタント資格取得促進として、中央研修及び北陸地区研修会等に職員を送り出し、資格取得意識の向上に努めました。

また、「メールマガジン人材開発」の付録を令和3年度の北陸地区研修会等の参加者に月号転送し、資格取得を後押ししました。

ロ 令和3年度新規採用職員に対し、ハローワーク全般の業務の流れ、基礎的な知識について研修を実施しました。

ハ ハローワークシステム刷新に当たり、職業相談部門の統括官より、職業相談窓口に関わる職員を中心に「ハローワークを利用して応募するシステムの変更点」など、運用上の重要な注意点を説明しました。

ニ 本省からの職業訓練業務に関する職員のマインドチェンジの指示も踏まえ、労働局訓練室長による研修を実施しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワークの周知の更なる徹底

全ての指標改善に通じる「ハローワークを利用する者（新規求職者等）の増加」を目的に新たに実施した取組です。

従前より当所では、主に労働局ホームページ内の個別ハローワークの取組紹介ページの活用、庁舎外で配付する求人情報誌誌面の活用、雇用対策協定を締結している金沢市の電子サイト（金沢市はたらくサイト）の活用などを行ってきましたが、いずれにおいても「ハローワークに興味の無い方」、「ハローワークを知らない方」などには、当所が展開する求職支援、求人支援の情報がどのレベルまで行き届いているのかいないのかが未知数となっていました。

今年度はこの層への周知広報を強化することを目的に、特にこれまで当所の利用のない者に向けたメッセージの発信を当所とは別の場所、かつ、対象を絞らず広く行き渡るよう、以下の取組を進めてきました。

(イ) 金沢市立図書館（全5館）の集客力を利用した周知の取組

雇用対策協定を締結している金沢市の協力で金沢市立図書館を活用した、当所の支援メニュー紹介と利用促進、金沢市の雇用施策を両面に印刷した“葉”（フルカラーで全33種）を図書館の受付近辺等に配置し、利用者に自由に持ち帰ってもらう取組を始めました。

ここで期待される効果は、葉を持ち帰った本人から家族間、友人間、同僚間などに利用の拡がり期待でき、1枚の葉がたなぐ“縁”により葉を目にする利用者が大きく広がる効果が期待されます。また、葉には紙面の都合で詳細な支援内容は記載できませんが、当所の支援メニュー紹介が豊富に掲載されるホームページに二次元コードで誘導することから、当所を利用していない層にも行き届いたハローワーク支援の利用促進が可能な取組としています。

（令和3年9月から令和4年5月までに1,250枚以上の利用が確認されています。）

(ロ) 金沢所及び津幡分室の公用車（※）を活用したハローワーク支援メニュー周知の取組

公用車の外装面にマグネット式のハローワーク支援周知用看板（カラーA3判2枚セット等12種）を貼付し、公務外出時の移動ルート全域に及ぶ「ハローワーク利用のための宣伝カー」として実施しています。（令和3年12月から一部の車両で開始、令和4年3月から

全車車両に拡大。)

当所の公用車は、ほぼ毎日いずれかの車両が使用されており、道路上を走行する車両からのほか、歩行者、カフェ等の路面店利用者、信号待ちの者など、場所を選ばず、不特定の対象者に周知を行うことができることから、周知効果が大きいものと期待されます。

(ハ) 面接会・企業ガイダンス（以下「求職イベント」という。）に参加する企業及び外部会場運営事業者への周知の協力依頼

求職イベントの参加事業所の本来事業での集客力を利用することで、広く周知を図る取組としています。

具体的には参加事業所のうち店舗等を運営する事業所や、人通りの多い場所にある事業所に求職イベントの参加者募集周知への協力として、リーフレット等の掲示・配置を働きかけました。

また、求職イベント会場を運営する施設にも同様に、求職イベント実施までの期間の施設の掲示板等への掲示を依頼しています。

（令和3年12月以降のイベント等を対象に、事業所・会場等への働きかけを令和3年10月より開始）

(ニ) 当所敷地内の掲示内容の見直し

当所の開庁時間帯に当所を利用できない者、当所の前を通勤、通学で利用している者などにも当所の求職者支援サービスを知ってもらうことを目的に、庁舎の外向けに「職業訓練情報」を掲示し、今後、当所を利用する際の情報提供に取り組みました。（令和3年5月から開始）

(三) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組

令和3年度は業務システムの刷新により、業務の進め方が大きく変革されました。

当所では石川労働局の指示を受け、これら機能利用の啓発を徹底し、オンラインによるサービス利用登録者も順調に増加させた反面、常態的にハローワーク窓口利用者が減少することとなったため、特に求職者向けにはオンラインによる求職サービスの利用登録を勧めながら、オンラインでは利用できないハローワーク窓口サービスメニューの紹介の徹底を図るなど（2）でも記載したハローワーク窓口の利用者数の確保のための取組も強化しているところです。

今後もハローワークサービスの周知とハローワーク窓口への誘導の取組は引き続き強化するとともに、当所の全体スローガンである「顧客大満足」の実現のため、求職者、求人者にハローワーク窓口を利用したことに満足感を持ってもらえるよう職員個々の資質と相談技法の向上に努め、さらに、項1（1）①記載の各指標の目標値の達成も意識した専門の各窓口・コーナー等での情報提供と支援の徹底を図ることでハローワーク利用者の拡大と早期再就職支援に向けた取組を進めることとしています。

(四) その他業務運営についての分析等

コロナ対策は令和2年度に引き続き特段の配慮が必要となったものの、年度後半には大きく緩和されたことから、令和3年度は令和2年度と比して増加（回復）傾向であったが、ハローワーク利用者の減少が大きく、前年度比で大きく減少した指標（雇用保険受給者の早期再就職件数など）もありました。

また、令和3年度は石川労働局の指導もあり令和2年度だけではなく、コロナの影響が数か月あった元年度、コロナの影響が皆無の30年度とも比較対比が求められ、このそれぞれにおいてはほとんどの指標で同期比減少傾向が著しいものとなりました。

次年度に向けての業務改善の方向性は（3）にも記載のとおりですが、次年度以降は「ウィズコロナ」としてコロナ対応も生活の一部として制約があるものの、ハローワーク業務面ではコロナ前と同等程度としていくことが必要となるため、当所における求職者、求人者支援も今年度以上に充実させ、かつ、コロナ禍の最中に大きく変遷してきたハローワークの求人者、求職者システムにも対応したハローワークサービスの新しい提供体制を前に進めることで、当所を利用する顧客全体に満足感を与えることに繋げていくこととしています。

2 特記事項

特になし。

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結び付いた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	生活保護受給者等の就職率	障害者の就職件数
令和3年度実績	5,623件	6,648件	2,126件	99.2%	494件	24,583人	2,620件	61.3%	542件
過去3年度平均	6,265件	7,566件	2,501件	105.0%	404件	27,641人	3,150件	51.0%	601件
R2年度実績	5,438件	6,698件	2,402件	105.0%	404件	22,108人	2,473件	44.9%	577件
対R2比	103%	99%	88%	94%	122%	111%	105%	136%	93%
R1年度実績	6,342件	7,741件	2,556件	104.4%	-	29,430人	3,298件	60.0%	588件
対R1比	88%	85%	83%	95%	-	83%	79%	102%	92%
H30年度実績	7,014件	8,260件	2,546件	106.9%	-	31,385人	3,680件	49.3%	639件
対H30比	80%	80%	83%	92%	-	78%	71%	124%	84%
	公的職業訓練終了3か月後の就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数							
令和3年度実績	522件	142件							
過去3年度平均	532件	106件							
R2年度実績	454件	90件							
対R2比	114%	157%							
R1年度実績	571件	122件							
対R1比	91%	116%							
H30年度実績	572件	105件							
対H30比	91%	135%							

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク小松 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

ア 求人充足対策

・コロナ禍において、当所の求人の減少もあり、長期間紹介及び充足できていない求人があったために、求職者へ求人票に関するアンケートを実施しました。その結果をリーフレットとしてまとめ、事業所へ周知して、求職者ニーズに応じた求人票作成の取組を始めました。リーフレットは、フルタイムとパートタイムで内容を変え、パートタイムでは希望の就業時間を載せる等、求人票の見直しに具体的に役立つようにして、手に取って見てもらえるボリュームとして、どちらも1枚（両面）としました。参考にしたいとリーフレットを持ち帰られる事業所が多く、充足数も前年度を上回る数となりました。

イ コロナ禍での事業所説明会の開催

・所内イベントとして、参加申し込みを事前予約制として、ミニ事業所説明会を開催（年間の実施回数、16回）しました。

ウ 求職者担当者制の実施

・有効求職者が増える中で、応募を慎重になる求職者も見られましたが、特に早期就職を希望される方々、コロナ禍で就職活動へ不安を抱えている方々、就職氷河期世代へは「求職者担当者制」を実施していることを周知し個別支援の強化に取り組みました。

エ 障害者の就職促進

・障害者の方が自力で通勤できるかの確認にもつながらる現地集合・現地解散型の事業所見学会や面接会を開催、職業相談等では関係機関等と連携した就労支援を実施し就職件数の増加に結びつけました。

オ ハローワークインターネットサービス機能強化等の周知

・雇用調整助成金等特例措置や在籍出向を活用しての雇用維持を図る産業雇用安定助成金、令和3年9月21日からハローワークインターネットサービス機能が強化されたこと等について、各会議で資料の配付や説明、また、関係各機関の広報誌へ掲載依頼し周知を行いました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

・職員間の業務の取組に対するバラつきを解消することに重点を置き、部門内ミーティングやOJTの場等を活用し、改めて取組の意義等の浸透、目標値達成への意識の醸成に努めました。また、キャリアコンサルティング資格取得等の支援として、キャリアコンサルティング研修開催時に職員を送り出しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

①新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

・前年度に引き続き 所内の来所者端末の運用を一部利用不可とし、改めて座席に利用不可表示したことや窓口相談のほか電話による職業相談を実施していること、求人情報はハローワークインターネットサービスでも検索可能なことを継続して周知しました。また、令和4年1月からオンライン相談を開始しました。

・前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、庁舎内には、感染防止にかかる対策チラシ（室内換気、アルコール洗浄、ソーシャルディスタンス等の確保）を貼り、利用者にはハローワークの取組を案内しました。

②パンフレットの配置の工夫

・雇用調整助成金等の助成金に係るパンフレットの配置について、コロナ関係の助成金を「新型コロナ関連」と表示して1列にまとめ、利用者に分かりやすく工夫しました。また、新型コロナウイルス感染症対応休業支援金については、わかりやすく目に触れるように庁舎入り口付近に周知用のリーフレット、申請様式等を配置しました。

③事業所訪問内容を掲示

・職員が事業所訪問を行った際に、事業所訪問記録をまとめ、事業所のPR内容や作業の説明などをコメントした画像情報を所内に掲示し、事業所理解と求人応募の促進を図りました。

④チラシの見直し

・ハローワークの就職支援サービスのチラシの内容をより分かりやすくリニューアルしました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

・新型コロナウイルス感染症の影響から、求人については業種、職種によって人手不足感が生じており、求職者については、応募を慎重になる方や不安を抱えている方が多く見られた。このことから、3年度求人充足対策として求人充足数アップの効果が見られた「求職者のアンケート調査」を引き続き実施する必要があることや求職者へは求職者担当者制を実施し個別支援を強化すること、昨年度は一定の制約が掛かって十分にできなかった事業所訪問や職場見学等を実施し改善を図っていきます。

①アンケート調査の実施

・求職者ニーズの調査を実施し調査結果をまとめ求人充足に繋がるリーフレットを作成・配付し充足率アップに繋げる取組を実施します。

②事業所訪問の実施

・職員等の事業所訪問、見学を実施し、職員等の事業所における業務内容等の知識を深めるとともに、訪問記録をまとめた内容、画像情報を所内に掲示し、求職者の事業所理解と求人応募の促進を図ります。

③求職者担当者制の周知、実施

・求職者担当者制について、職員1人当たりの担当する目標数を定めて実施し予約相談や継続的な支援を行います。

④障害者雇用の促進

・障害者窓口担当職員等による職場見学を実施し、障害者専用求人開拓及び支援メニューの説明を行い、雇用の推進を図ります。また、支援機関と未達成企業を繋ぐセミナー・交流会を開催します。

(4) その他業務運営についての分析等

・3年度当初は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の影響から、例年実施している新規高等学校卒業予定者就職対策連絡会議や新規学校卒業者対象求人説明会等の各種行事は、開催できず、その代替措置を取ることになりましたが、公正採用選考推進員研修会では、ZOOM機能を活用したオンラインによる研修を新たに実施することができました。

また、令和4年1月からオンライン職業相談を開始しました。オンラインによる登録者数は、まだまだ低調であり、今後、更にオンライン求職登録者を増やすため、ハローワーク利用について広く周知を進めていきます。

2 特記事項

特になし。

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人数(必須指標)	正社員就職件数(必須指標)	就職支援ナビゲーターの支援による正社員就職件数	障害者の就職件数
令和3年度実績	2,069	1,991	648	93.0%	147	6,274	968	139	180
過去3年度平均	2,332	2,194	800	106.0%	100	6,771	1,171	169	154
R2年度実績	2,097	1,909	760	103.4%	100	4,845	967	145	134
対R2比	98%	104%	85%	89%	147%	129%	100%	95%	134%
R1年度実績	2,342	2,239	839	108.3%		7,202	1,205	172	162
対R1比	88%	88%	77%	85%		87%	80%	80%	111%
H30年度実績	2,557	2,433	802	105.8%		8,267	1,341	190	166
対H30比	80%	81%	80%	87%		75%	72%	73%	108%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク白山 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、マッチング機能の向上を図るため、求職者担当者制による個別支援について、各担当者の専門分野（フリーター、高齢者、障害者、訓練修了者等）に応じ、継続性のある双方向性による支援を実施するとともに、今年度は、就職氷河期世代の求職者及び高年齢者を重点対象者として個別支援の強化を図りました。

また、求人者支援については、求人者担当者制を継続するとともに、求人条件の緩和、雇用改善の提案、新たな取組として求人票に記載されていない情報を収集し、職業相談時に求職者に情報提供出来るよう、チェックリストを作成しシステム入力するなど職業相談部門と情報共有を図りました。

このほか、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、来所せず求人提出が可能な仕組みとして、求人提出時や求人説明会等において「求人者マイページ」を周知し、求職者に対しては、「求職者マイページ」を活用し、マッチング及び各種支援制度の案内をすることにより就職件数の増加に繋げるため、マイページを開設していない求職者への登録勧奨を積極的に行いました。

この結果、就職件数は2,103件と前年度実績2,089件を上回ることが出来ました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

中長期的な職員の資質向上に向けて、ハローワーク評価に対する理解やPDCAサイクルによる継続的な業務改善を図るため、所長が講師となり全職員に対しPDCA研修を1回開催しました。

また、就職支援の重要施策である職業訓練について、受講者数を増加させるためには、来所者と接するあらゆる機会を活用して訓練受講を働きかけることが重要であることから、統括職業指導官が講師となり全職員に対し、職業訓練に関する研修を1回開催しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

コロナ渦において待合室のデットスペースを活用し、「再就職手当を計算してみよう!!」や政府として取組を勧めている「職業訓練の案内」等1枚資料を貼り付け、意識付けのための案内を行いました。

また、新たに「就職氷河期世代対象求人一覧表」、「会社見学可能求人一覧」を作成し、ハローワークの玄関ホールへの貼り出しや持ち帰りできるようにするなどサービス改善に取り組みました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワークシステムのオンライン登録やオンライン紹介、自主応募、マイページの開設について、これまでハローワークを利用していない求職者への周知が必要であることから、「ご存じですか？求職者マイページ」チラシを作成し、ホームページへの掲載により更なる周知の強化を図ります。

また、これまでの求職者担当者制（双方向型）を継続しつつ、新たに片方向型の担当者制も導入し、就職氷河期世代の求職者や、高年齢求職者を重点対象とした支援の強化を図ります。

（4）その他業務運営についての分析等

令和3年度の求人数は、当所管内の主要産業である製造業が回復傾向にあり増加したものの、建設業、卸売・小売業で減少したことから、全業種で見ると対前年度比7.1%の減少となりました。

今後は、新規又は1年以上ハローワークに求人申込みを行っていない事業所について、重点的に求人開拓を実施するとともに、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、条件緩和、雇用管理改善の積極的な提案を行い、事業所との関係構築を図るため計画的な事業所訪問をしていきます。

2 特記事項

特になし

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	生活保護受給者等 の就職率	正社員に結び付い た就職氷河期世代 の不安定就労者・ 無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	
令和3年度実績	2,103	1,848	722	101.8%	44.3%	145	7,035	1,028	
過去3年度平均	2,331	2,120	873	112.0%	51.0%	101	8,242	1,134	
R2年度実績	2,089	1,946	886	109.1%	51.5%	101	7,542	953	
対 R2 比	100%	94%	81%	93%	86%	143%	93%	107%	
R1年度実績	2,326	2,074	919	106.9%	46.0%		8,271	1,129	
対 R1 比	90%	89%	78%	95%	96%		85%	91%	
H30 年度実績	2,578	2,340	813	118.5%	54.5%		8,912	1,319	
対 H30 比	81%	78%	88%	85%	81%		78%	77%	

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク七尾 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

【就職件数（常用）】

新型コロナウイルスの影響により新規求職者が減少し、対面での業務遂行に制限がかかる中、求職者をハローワークの窓口に取り込むため「就職活動セルフチェックシート」及び「応募を検討する際のポイント」を盛り込んだリーフレットを作成し配布しました。

また、ハローワークができる支援の周知を目的として、支援サービスメニューリーフレットの改訂、ホームページのリニューアル、求人一覧表への当所ホームページ二次元コードの掲載、地方自治体の広報誌への掲載等を実施しました。

さらに、就職活動の新しいツールである「求職者マイページ」の開設手順をわかりやすくまとめたリーフレットを作成・配付し、在職中及び職業訓練受講中でハローワークへの来所が困難な求職者を中心に、求職者マイページの利用を促進しました。

前年度から実施している「求職者担当者制」については、就職氷河期世代や母子家庭の母等を積極的に対象とすることとし、きめ細かな相談に取り組みました。

【充足数（常用）】

新規・更新を問わず求人を受理する際には、仕事内容の詳細を聴き取り記載の充実を図ることをはじめ、緩和できる条件が無いか丁寧に確認し、魅力ある求人票の作成支援に取り組みました。

また、充足会議の定期開催及び求人担当者制を実施するとともに、求人者の求める人物像や求職者の意向等のスピーディーな情報共有を目的として、求人担当・職相担当による「ダブルス支援」を実施しました。

さらに、石川労働局と金融機関の連携協定に基づき、のち共栄信用金庫の職員及び顧客である企業に対し、『ハローワークの活用の仕方』として、求人票の記入方法等に関するセミナーを実施しました。

【雇用保険受給者の早期再就職件数】

失業認定日における全員相談により、個々の求職者の最新の就職活動状況を把握し、緊要度に応じたメリハリのある職業相談を行いました。

また、早期就職で再就職手当を受給した場合の収入金額を具体的に示したリーフレット「こんなに違う3ヶ月後」を作成・配付し、雇用保険受給者の就職意欲の喚起に努めました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

自身が担当する業務はもちろん、ハローワーク全体の課題を意識し改善の提案ができるようになるよう、「見た！聞いた！感じた！メモ」を作成し、非常勤職員を含めた全員から毎月提出させることとしました。また、提出された意見については全て所長及び幹部職員で検討し、全員に回答するとともに、できるものから順次改善策を講じました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

オンラインを活用したセミナー及び面接が増加傾向となり、求職者からの問い合わせに対応するため、オンラインセミナー受講時及びオンライン面接時の留意点をまとめたリーフレットを作成・配付しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

【地方自治体との連携強化】

雇用対策業務における管内自治体との連携を強化するため、雇用対策協定締結及び事業計画策定を目指します。

また事業計画に基づき、地方自治体の広報誌・各所掲示板等を活用したハローワーク支援メニューの積極的な広報、合同企業説明・面接会の開催（管内求人・求職者への周知、会場確保、運営スタッフ確保等）を実現します。

【ハローワーク七尾の広報】

ハローワークの封筒に、所ホームページの二次元コード及び職員から公募したキャッチコピー『人と仕事の縁結びハローワーク』を掲載し、七尾所の支援メニューを広く知ってもらう取組を行います。

【計画的な事業所訪問】

求人者マイページ開設を推進しつつ、求職者が真に知りたい事業所（現場）の情報を把握・共有するとともに、職員の知識向上を目的として、計画的な事業所訪問を実施します。

【新規求職者の取り込み】

ハローワークを初めて利用する求職者や、自己検索端末だけを利用し相談窓口を利用しない求職者に対して、積極的な声かけとサービスメニューの案内を行う取組を継続します。また、管内自治体との雇用対策協定締結及び事業計画に基づき、地方自治体の広報誌・掲示板等を活用したハローワーク支援メニューの積極的な広報を行います。

【能動的な職業訓練への受講勧奨】

個々の求職者の希望に応じた訓練コースの受講勧奨はもとより、職域拡大やキャリアアップなど訓練受講のメリットを積極的に周知するとともに、各種支援制度の活用を絡めた能動的な受講勧奨を強化します。

【（雇用保険業務）電子申請率の向上】

ウィズコロナにおける感染防止対策及び業務効率化等、電子申請のメリットを積極的に周知し、申請率アップに取り組みます。

（４）その他業務運営についての分析等

・新規求職者が減少する一方であり、これまでハローワークを利用していない層からの取り込みも重要ですが、現在すでに登録している求職者を「1人も取り残さず」就職してもらうことも重要と考えます。そこで、より適切な情報提供・相談業務を推進できる職員を育成するため、視野を広めスキルアップを目的とした研修を実施します。

・ウィズコロナで経済状況の改善が進むことにより、人材不足に対する支援がより一層求められると予想します。また、全体の4割近くを占める高齢求職者について、高齢求職者が『応募できる』求人と『応募したい』求人には乖離があるため、求人充足に向けて求人者・求職者双方から歩み寄ってもらうよう、求人・職業相談部門間の情報共有・連携を強化します。

2 特記事項

新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言及び石川県からの休業要請等の影響で、管内の基幹産業である観光関連業（宿泊サービス、飲食サービス、食品製造等）は大きな打撃を受け、休業を余儀なくされた企業においては、雇用調整助成金制度等の活用が進みました。

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	生活保護受給者等の就職率	所で選択して記載
令和3年度実績	1,600	1,409	447	85.3%	110	5,447	796	69.4%	
過去3年度平均	1,947	1,697	568	88.0%	121	4,965	928	91.0%	
R2年度実績	1,666	1,445	554	84.0%	121	4,611	833	100.0%	
対R2比	96%	97%	80%	101%	90%	118%	95%	69%	
R1年度実績	2,054	1,762	624	91.1%		5,308	963	88.5%	
対R1比	77%	79%	71%	93%		102%	82%	78%	
H30年度実績	2,120	1,885	525	87.5%		4,976	988	83.0%	
対H30比	75%	74%	85%	97%		109%	80%	83%	

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク加賀 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

新型コロナウイルス感染症の影響も残る中、当所では「プラスワンの複数紹介を意識した相談の実施」、「求職者マイページを活用した求人情報提供」や「求職者担当者制の実施」などに取り組むとともに、定期的な採否確認等の基本業務を徹底し、就職の促進（雇用保険受給者の早期再就職を含む）に取り組みました。

求人不足のためには、積極的に求人事業所に声掛けし管理選考を開催するほか、協同組合や地域と連携した現地での「宿泊業説明・面接会」の複数開催、「医療・介護企業説明・面接会」や「障害者就職面接会」の開催など、就職の機会を広げる取り組みを実施しました。具体的には「加賀温泉郷企業説明・面接会」を「主催：ハローワーク加賀・山代温泉旅館協同組合・山中温泉旅館協同組合」、「共催：石川県・加賀市」で開催しました。

また、「就職氷河期世代の正社員就職の取り組み」は、求職者担当者制の実施のほか、新たに模擬面接を実施することで、就職の支援を行いました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

コロナ禍において感染対策を徹底しながら、職業相談・求人部門の職員全員が事業所訪問を実施することで、職員の管轄事業所への理解を進めると同時に、訪問時に撮影した「仕事の様子」や「建物外観」の画像を「求人票以上の情報」としてハローワーク内で掲示公開することで事業所のPR拡大と応募を検討する求職者の背中を押す取り組みを実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

「管理選考」について、求職者及び求人者のハローワークの利用を進めるため、HW側から積極的に求人事業所に声掛けし、開催を勧奨しました。

また、「宿泊業説明・面接会」については、今後の活性化のための人員確保で協同組合や加賀市と連携し、現地での複数開催を実施しました。

特に就職氷河期世代や若年求職者の支援に向け、新たに「模擬面接」を従来の「就職支援セミナー」と併せて定期的で開催しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

「管理選考」・「説明・面接会」については、求職者が気軽に企業の採用担当者から話を聞くことができ、就職の機会を広げる取り組みのため、開催回数・参加企業の確保・推進を行うとともに、様々な方法で今まで以上の周知の徹底を図っていきます。

「求人事業所画像情報」については、情報の更新及び新規取得を行うとともに、訪問時の情報を掲示・公開することにより、「求人票以上の情報」の提供を行い、より応募を検討する求職者の背中を押す状況を構築していきます。

（4）その他業務運営についての分析等

「就職件数」、「充足件数」の確保のための取り組みには、「求職者の確保」「紹介件数の増加」「新規求人の確保」が最も貢献度が高く、かつベースとなるため、「HW支援メニューの外部への周知」「求職者に対する求人に応募する機会の重要性の周知」「求人事業所への定期的なアプローチ（画像情報更新含む）」を意識し、基本業務の徹底に取り組んでいきます。

2 特記事項

新型コロナウイルス感染症の影響により管内主要産業である宿泊業などはいまだ不透明な状況にあるものの、新規開拓求人も含め求人を確保することで、事業所のPRや管理選考などを実施しながら就職・充足支援に取り組んでいきます。

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの 職業紹介により、 正社員に結びつい た就職氷河期世代 の不安定就労者・ 無業者の件数	正社員求人数 (必須指標)	正社員就職件数 (必須指標)		
令和3年度実績	1,034	898	257	99.7%	80	3,195	490		
過去3年度平均	1,156	979	328	106.0%	71	3,636	563		
R2年度実績	1,034	880	317	96.5%	71	2,670	433		
対 R2 比	100%	102%	81%	103%	112%	119%	113%		
R1年度実績	1,175	985	317	111.5%	—	3,991	581		
対 R1 比	88%	91%	81%	89%	—	80%	84%		
H30 年度実績	1,260	1,073	350	110.4%	—	4,247	676		
対 H30 比	82%	83%	73%	90%	—	75%	72%		

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク輪島 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、雇用保険受給者の早期再就職の促進に重点を置き、初回認定日において1人の求職者に対し紹介担当者全員で事前マッチングを行う「アルバムのマッチング」、早期再就職プランの提供による再就職手当制度の周知や、各認定日における求人情報の提供などに取り組みました。さらに、DMによる求人情報の提供を積極的に実施するため、週単位の当番制による求人情報のマッチングに取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、求職者担当者制の実施要領に基づき、紹介部門の本所、出張所の職員、相談員が求職者のニーズを詳細に把握して個別支援を継続することや事例検討会などにより、就職数の向上に繋がるよう研修を実施しました。加えて、ハローワークの職業相談等には各種労働法の知識も必要となることから、穴水労働基準監督署を講師に労基法研修等も実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

新型コロナウイルス感染症の蔓延が長期化しており、人材不足分野の1つである介護・看護分野において、慢性的な人材不足の状況が見られることから、本所、出張所において、新たに「福祉関連情報コーナー」を設置し、福祉関連の求人ファイル、パンフレット、会社案内を配置し、積極的に情報提供が行えるよう改善を図りました。また、雇用保険受給者に就職活動の長期化が見られることから、新たに「就職活動自己点検シート」を作成し配布することにより、就職活動に必要な準備や取組とハローワークの支援サービスの内容、窓口利用のメリットを理解していただき活用いただけるよう周知の改善を図りました。さらに、就職氷河期世代の正社員就職を後押しするため、「正社員のメリットを説明するリーフレット」の配布や、「就職活動自己点検シート」の活用、ハローワーク求人情報誌（月刊・週刊）に「正社員」の表示を追加し、最新求人早見シートの掲示板を「正社員」に特化して表示する改善も図りました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

早期再就職を希望する求職者も多いことから、効果的な就職支援を行うため、正社員希望者や就職を急ぐ雇用保険受給者を中心に、求職者担当者制の支援対象者に選定し、双方向型に加え片方向型の担当者制も積極的に実施していくことが必要であると考えられます。また、令和3年度から新たに設置した「福祉関連情報コーナー」の活用状況を検証しつつ、人材不足分野における慢性的な人手不足解消のため、同コーナーの充実化を図り積極的な情報提供を続け改善を図ることとします。

（4）その他業務運営についての分析等

特になし

2 特記事項

特になし

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職 氷河期世代の不安定就労者・ 無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数		
令和3年度実績	947	861	160	83.0%	68	2,436	386		
過去3年度平均	1,009	849	218	89.0%	53	2,299	399		
R2年度実績	945	812	196	84.3%	53	2,190	358		
対R2比	100%	106%	81%	98%	128%	111%	107%		
R1年度実績	1,029	859	231	94.6%		2,338	408		
対R1比	92%	100%	69%	87%		104%	94%		
H30年度実績	1,052	877	227	87.1%		2,368	430		
対H30比	90%	98%	70%	95%		102%	89%		

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

石川労働局における令和4年度マッチング機能の 総合評価に係る目標設定等

マッチング機能に関する業務目標（主要指標）

	局計	金沢所	小松所	白山所	七尾所	加賀所	輪島所
①就職件数	14,957件	6,230件	2,322件	2,326件	1,750件	1,148件	1,181件
②充足数	15,225件	7,321件	2,220件	2,103件	1,542件	972件	1,067件
③雇用保険受給者の 早期再就職件数	4,304件	2,106件	642件	735件	419件	254件	148件

- ①就職件数とは、公共職業安定所の職業紹介により就職した件数のこと。
 ②充足数とは、公共職業安定所の求人（受理地ベース）の充足数のこと。
 ③雇用保険受給者の早期再就職件数とは、雇用保険受給者が基本手当の支給残日数を所定給付日数の3分の2以上残して早期に再就職する件数のこと。

上記主要指標のほか、地域の課題を踏まえ、特に重点的に推進し成果をあげる必要がある業務としてハローワーク毎に選定する指標（就職氷河期世代の就職件数ほか）等についても、それぞれ数値目標を設定し、その達成に向けて取り組む。

目標達成に向けた主な取組内容

①就職件数	<p>「求職者担当者制」、「能動的マッチングの推進」に加え、オンラインハローワーク紹介を積極的に実施すること等により目標達成に向けて取り組む。</p> <p>オンライン職業相談等就職支援の際には、求職者マイページ等を活用することから、マイページの周知、利用勧奨を行う。</p> <p>また、職員の専門性向上のため、キャリアコンサルティングに係る技法の習得や業界動向、職務内容等に関する知識の習得など、職員の専門性の向上を図る。</p>
②充足数	<p>求人内容を詳細に確認し、正確でわかりやすく魅力ある求人票を作成するとともに、求人者ニーズと求職者ニーズを的確に把握し積極的マッチングを行うことにより求人の充足を図る。</p> <p>具体的には、「求人充足会議の活性化による早期に求人を充足する取組」、「求人担当者制の実施による充足フォローアップ」、「人材確保対策として、積極的に雇用管理改善（働きやすい魅力ある職場づくり）に取り組む企業に対する重点的な求人充足支援」等により目標達成に向けて取り組む。</p>
③雇用保険受給者の 早期再就職件数	<p>雇用保険受給者に対して、求職申込から間もない初期段階に早期再就職に向けた意識啓発及び職業相談の実施を積極的に実施する。</p> <p>具体的には、雇用保険手続きから再就職までの間に、予約制による職業相談、個々の求職条件別の就職情報の提供及び職業訓練や面接支援、応募書類添削支援セミナー等の活用促進により再就職支援の徹底を図り、目標達成に向けて取り組む。</p>

業務目標（主要指標以外）

地域の雇用に関する課題を踏まえ、特に重点的に推進し成果をあげる必要がある業務に係る指標（公共職業安定所が特に重点を置く項目として選択するもの）【所重点指標】

項目	労働局目標値
生活保護受給者等就労自立促進事業の就職率	63.5%
障害者の就職件数	1,201件
新卒者応援に係る就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等（既卒者含む）の正社員就職件数	1,390件
ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代（35歳～54歳）の不安定就労者・無業者の件数（※）	966件
ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーター等（おおむね35歳未満）の件数	1,306件
公的職業訓練の修了3ヶ月後の就職件数	848件
マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	94.0%
人材不足分野の就職件数	3,142件
生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数	333件

※「ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代（35歳～54歳）の不安定就労者・無業者の件数」は全所必須項目。